

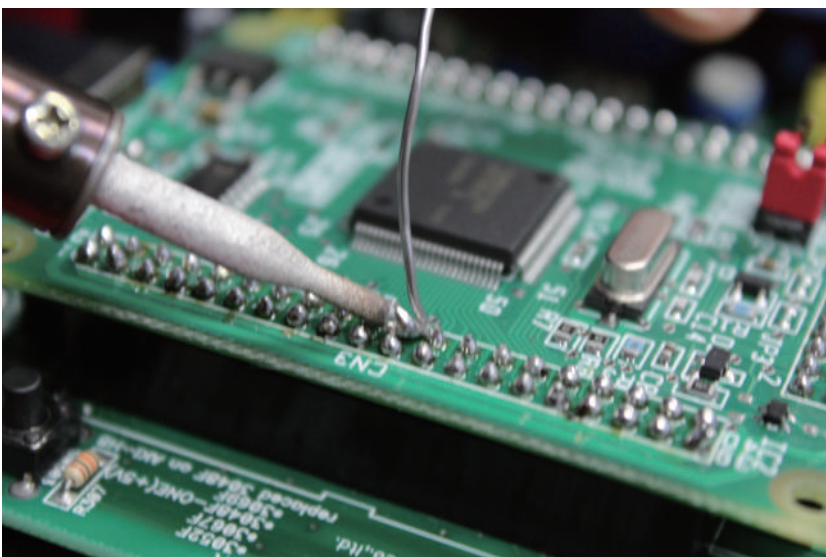
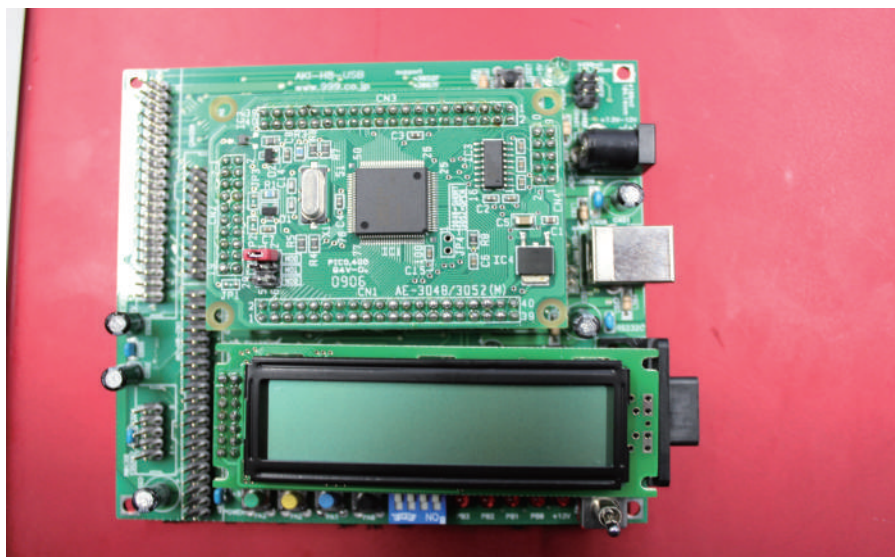
# 製作班

中村一行 手林祐介 川東匠 風間祥光 柳原悠太 武石駿也

## 概要

北海道新幹線の 2015 年度開通セレモニーに合わせた、IKABO11 号機の完成を目指して活動している。イベントで使用する 3 号機・5 号機の修復を行うメンテナンス班と新しい IKABO11 号機を設計する設計班に分かれ活動している。

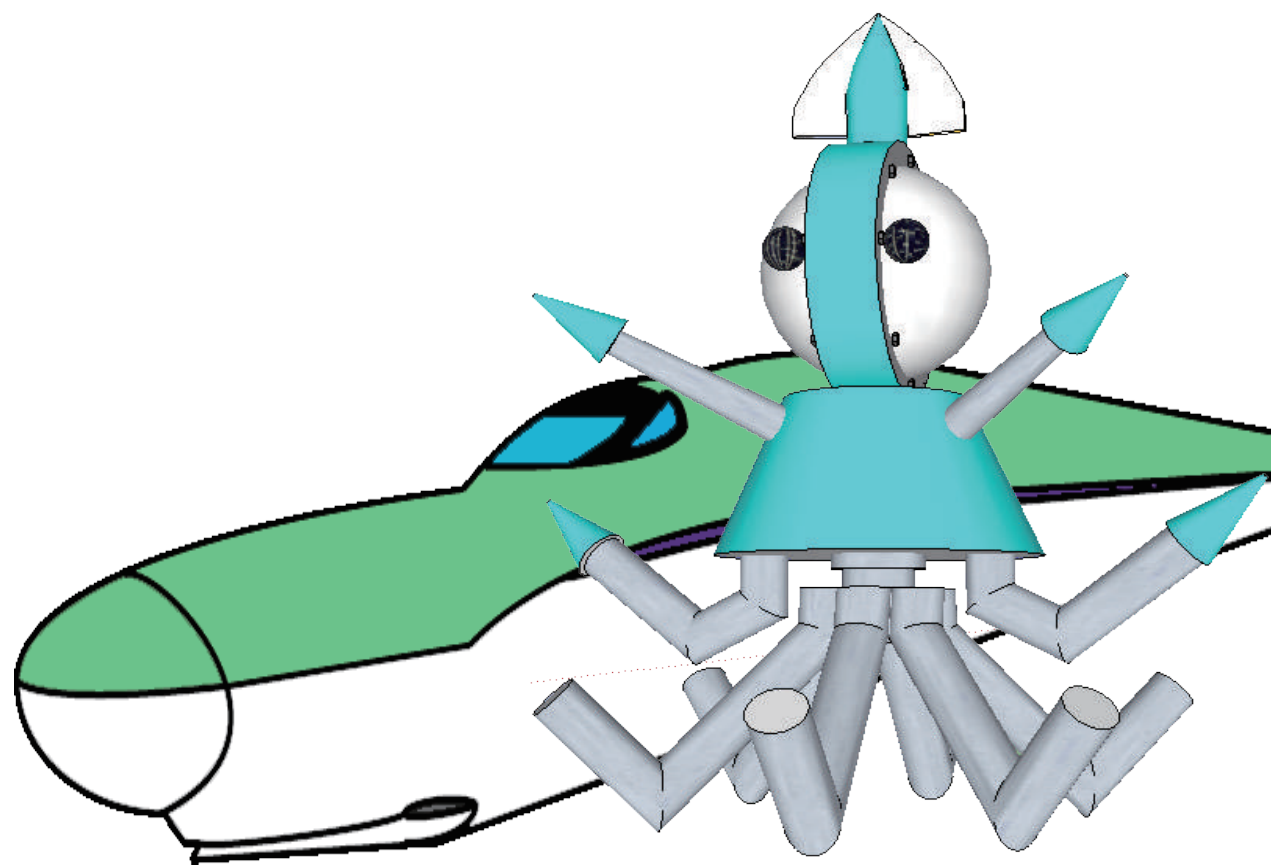
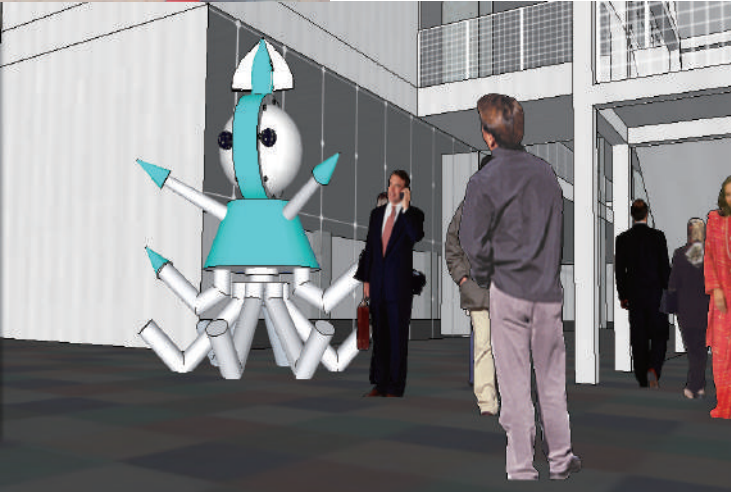
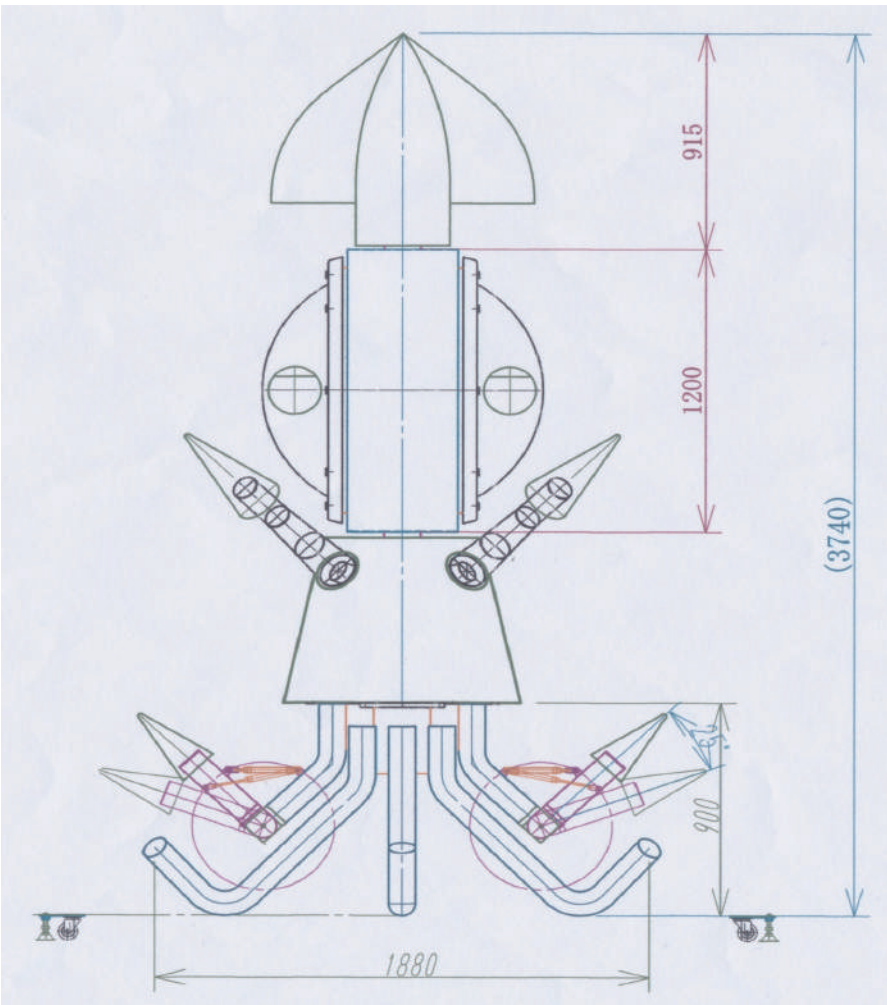
## メンテナンス班



故障している IKABO3、5 号機のマイコン「RE00V」の代わりとなる新たなマイコン「AKI-H8/3052F USB 開発セット」を購入。セットのパーツをはんだ付けし、マイコンを作成した。

完成した新型マイコンの動作確認を完了した。しかし、IKABO 本体に実装するまでには至らなかった。

## 設計班



11 号機作成に連携している業者と設計図の話し合いを行って、11 号機の設計を最終段階まで進めた。

SketchUp を用いて 3D モデルを作成し、未来大学内や函館駅前の写真と合わせて 11 号機の大きさを想像しやすいイメージ画像を作成した。

今後は、北海道新幹線の開通セレモニーで 11 号機を公開し、メディアからの注目を集めることで函館の活性化に貢献する予定である。

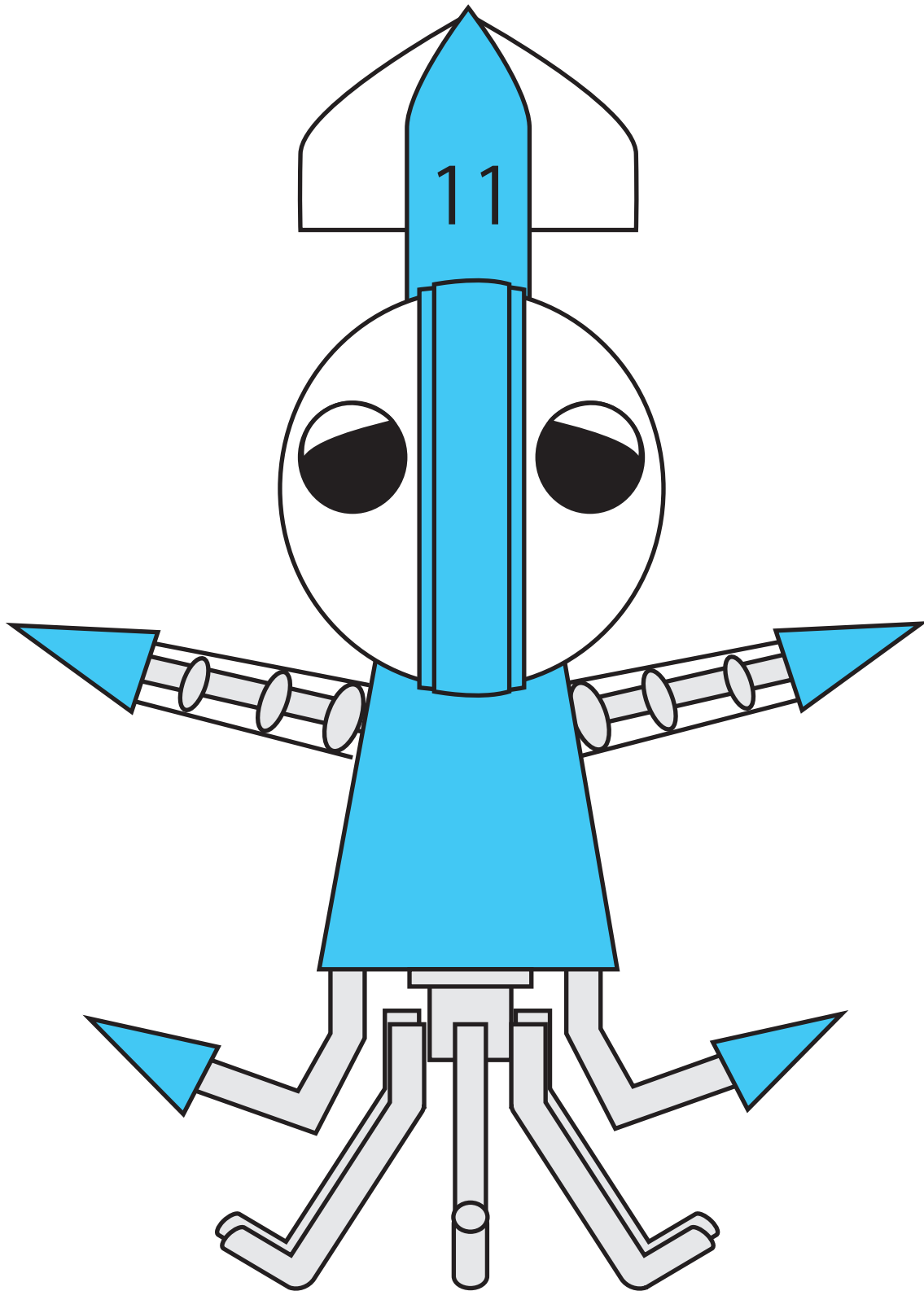
## 函館蔦屋書店でのイベント

製作班は蔦屋イベントで体感コーナーの企画、運営を行い、IKABO ショーにおいて IKABO1 号機の保守、点検を行った。



### Kinect

IKABO11 号機を動かす技術の一部である Kinect が一体どのようなものかを知ってもらうために、体感コーナーを設置した。上の写真のように子供でも簡単に体験できるものを用意した。この写真は画面の中の自分がヒーローに変身し、手や顔からビームやレーザーを出す体験をしている所である。



### Processing

IKABO はプログラムによって動いている。そこで、プログラミング言語の中で簡単な Processing を利用して、プログラミングに興味のある人向けにプログラムに少しでも触れることができるコーナーを設置した。直線や矩形を描画する関数をいくつか教え、実際に動く作品を作ってもらった。